

光が丘第三小学校・光が丘第四小学校 統合準備会(第5回) 要点記録

開催日時	平成20年11月7日(金)午後7時~午後8時40分	
会場	光が丘第三小学校 図書室	
出席者	委員	長田信彦、岩本重雄、長久保昌典、赤羽根智、當山真浩、羽毛田正子、鈴木琢磨、村木智行、平原里美、福島幸恵、内藤佐世子、照井博子、春日清香、西脇和子、高橋司郎、高原洋子、深野良子、横尾安子(敬称略)
	その他	学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	7人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第4回)の要点記録の確認 2 学校指定用品の公費負担について 3 統合準備会連絡会(第1回)の協議結果について 4 統合新校の校名の選定について 5 その他 	

1 統合準備会(第4回)の要点記録の確認

事務局

統合準備会(第4回)の要点記録(案)を配付した。修正・意見等があれば11月14日(金)までに連絡をいただきたい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

- 質疑なし -

2 学校指定用品の公費負担について

事務局

両校の教職員で構成する教職員連絡会で統合新校の学校指定用品を検討してもらった。その協議の結果、統合時に買い替えが必要な品目は、校章が変更となる校帽と体育着(上)、両校の色が異なる体育着(下)と水泳帽の4点であるとの報告を受けた。本日の統合準備会の意見を踏まえ、学校とも相談した上で、区が負担する品目を決めていきたい。

委員

鍵盤ハーモニカやリコーダーの規格は揃えなくてよいのか。

副会長

元々、複数指定したもののの中から保護者が選んで購入しているので、まったくの同一規格に揃える必要はない。当統合準備会としては、校帽、体育着（上）、体育着（下）および水泳帽の4点を要望していきたいと思うがよろしいか。

- 異議なし -

3 統合準備会連絡会（第1回）の協議結果について

（10月15日（水）に開催された統合準備会連絡会（第1回）の協議内容を報告）

【概要】

(1) 統合準備会連絡会の進め方について確認した事項

- ・ 統合準備会連絡会は、各統合準備会の合意に基づいて開催する。
- ・ 統合準備会連絡会で確認した事項であっても、各統合準備会が最終的に判断する。
- ・ 委員の代理出席を認め、各統合準備会がその選出方法を定める。
- ・ 会議は原則として公開で行い、開催日時や議事録はホームページで公表する。

(2) 統合新校の校名の選定に関する委員の主な意見

- ・ 校名を公募することに賛成である。
- ・ 校名募集の範囲は、統合対象校の児童と保護者、光が丘とその周辺地域に限定したほうがよい。
- ・ 光が丘地区として名称の統一性をとったほうがよい。
- ・ 校名の候補が重なった場合のみ調整すればよく、名称の統一性をとる必要はない。
- ・ 名称の統一性をとるために条件を付けると、児童が自由に応募できなくなる。
- ・ 名称の統一性は、校名の募集後に図ればよい。

4 統合新校の校名の選定について

事務局

統合準備会連絡会（第1回）では、校名の募集については「公募すべきである」、募集の範囲(対象者)については「統合対象校の児童・保護者、光が丘および周辺地域に限定すべきである」という意見が多数であったが、名称の統一性については賛否両論で、様々な意見があった。また、「各統合準備会（第5回）の後に、再度、統合準備会連絡会を開催すべきである」との意見が多数であった。そのため、校名決定に向けた今後のスケジュールとして、今月中に統合準備会連絡会（第2回）を開催し、12月に開催する統合準備会（第6回）で、名称の統一性や

募集方法について協議し、平成 21 年 1 月には校名を募集したいと考えている。その後、事務局で校名案の集計を行い、2 月から 3 月に開催する統合準備会で校名候補を決定し、6 月の区議会第二回定例会で条例を改正したい。

委員

最終的に校名が決定する平成 21 年 6 月以降に、校歌や校章を検討して、22 年 4 月の開校までに準備は間に合うのか。

事務局

正式に校名が決まる前であっても、校名候補の段階で校歌・校章を検討することは可能なので、開校に間に合わせる。

委員

1 月上旬は冬休みもあり、実質 1 ヶ月とれないので、もう少し募集期間を延長してほしい。また、児童には冬休み中に校名を考えてもらえるように、冬休み前に募集の予告をしてはどうか。

事務局

募集期間については、平成 21 年 1 月 8 日から末日までの予定である。区のパブリックコメント制度における募集期間も 20 日から 30 日程度なので、短いとは考えていない。児童への事前周知については、学校と相談したい。

会長

児童に対し、冬休み中に校名を考えておくようにと指導することは可能である。

副会長

次に、当統合準備会における、統合準備会連絡会の委員の代理出席者の選出方法を決めたい。

委員

出席できない場合は事務局に連絡するので、事務局で代理の委員を指名してほしい。

委員

委員は両校の保護者と地域から代表として出ているのだから、代理の委員もその中から選んだほうがよい。

委員

代理の委員は、必ず出さなければならないのか。

事務局

代理出席も可としており、必ず出さなければいけない訳ではない。

副会長

代理出席は義務ではないが、委員が出席できない場合は、原則として、それぞれの学校の保護者や地域の委員に代理出席をお願いすることでよいのではないかと。

- 異議なし -

副会長

統合準備会連絡会（第1回）では、校名の募集については、「公募すべき」という意見が多数であったようだが、当準備会としても、公募することに異論はないと思う。募集の範囲（対象者）については、「統合対象校の児童・保護者、光が丘および周辺地域に限定すべき」という意見が多数であったようだが、募集の範囲（対象者）についての意見はあるか。

委員

光が丘とその周辺地域は、光が丘地区の小中学校への思い入れが強いと思うので、募集範囲は地域限定にした方がよい。

委員

光が丘第三小学校と光が丘第四小学校の卒業生が多く通っている光が丘第二中学校の生徒に、校名案を募集してみてもどうか。

委員

現在、光が丘第三小学校と光が丘第四小学校を卒業して光が丘第二中学校に通っている生徒は少ないので、学校を通じて校名案を募るのではなく、卒業生は光が丘とその周辺地域に含めて考えるべきだ。

委員

周辺地域とはどこまでを指すのか。

事務局

基本的には、統合対象校8校の通学区域であり、町会・自治会を通じて統合準備会だよりを回覧・掲示している範囲である。光が丘第三小学校と光が丘第四小学校であれば、光が丘の通学区域と高松五丁目の一部である。

委員

統合新校4校の校名を、まとめて応募できる方法も考えてほしい。

事務局

1枚の応募用紙で1校の校名だけを記入してもらおうか、4校の校名を記入してもらおうかについては、まだ決まっていない。

副会長

児童には、自分達の学校名だけを考えてもらえばよいと思う。地域からの募集については、応募用紙の様式がどのようになるかわからないが、校名をいくつ記入するかどうかは、記入する方に判断してもらえばよいのではないかと。募集の範囲（対象者）については、当準備会としては、統合対象校の児童・保護者、光が丘および周辺地域に限定することとしたいが、名称の統一性についての意見はあるか。

委員

統合準備会連絡会で名称の統一性をとろうとしても、決定権限が統合準備会にあるので、統一性をとることができないのではないかと。そもそも、統合準備会連絡会を開催する意義がわからない。

学校教育部長

名称の統一性について、統合準備会連絡会でも、最終的な結論が出ないかもしれないが、各統合準備会から代表の委員が集まって、様々な意見を出し合い、また、その意見を各統合準備会に戻していただくことで、開催の意義はあるものと考えている。

委員

統合準備会連絡会に出席して感じたことは、委員が「光が丘」という名称に、思ったよりこだわっていないということと、一部の委員は「田柄」の地名に対する思いが強いので、田柄の地域を尊重しながら校名の検討を進めていかなければならないということである。確かに、統合準備会連絡会で校名の統一性をとることは難しいが、各統合準備会での校名募集後に、おのずと統一性がとれるのではないかと思う。

副会長

条件を設けずに、自由に校名募集したほうがよいのではないかと。

委員

1枚の応募用紙で1校の校名だけを記入させるのか、4校の校名を記入できるようにするかをはっきりさせないと、地域の方が応募する際に混乱が生じる。募集方法については、光が丘地区に長く住み続け、地域に強い思いを持っている方にも配慮するよう具体的に考えるべきだ。

委員

1校の校名だけを記入させる応募用紙と4校分記入できる応募用紙の2種類を配ればよいのではないかと。

副会長

応募用紙については、事務局で案をまとめていただきたい。

委員

統合準備会連絡会では、長すぎる校名はよくないという意見や児童が略称で呼べる校名がよいという意見もあった。

副会長

自由に募集したほうがよいので、何ら条件を設けないほうがよいと思う。また、校名候補は多数票をもって決めるのではないことや新しい校名を使うことを、改めて応募用紙に明記する必要はないのではないか。住所や氏名欄およびその校名にした理由欄を設けるか。

委員

理由欄を設けてもよいが、空欄であっても有効にすればよいのではないか。

事務局

第2回統合準備会連絡会については、11月21日(金)午後7時から、光が丘区民センターで行うことを予定している。後日、開催通知を送付するので、出席をお願いする。

5 その他

委員

現在、光が丘第三小学校のグラウンドを野球やサッカーで使用しているが、統合後も使用可能か。また、区の相談窓口はどこか。

事務局

跡施設の開放については、跡施設の活用内容や管理形態などを踏まえ検討していく。今のところ、窓口は生涯学習課である。

委員

現在、光が丘第三小学校の特別支援学級の児童は、マラソンのため、毎朝、グラウンドを使用しているが、統合後は児童数も増えるため、毎朝の使用が難しくなる。引き続き、光が丘第三小学校のグラウンドを使用することを要望する。

事務局

学校からも話を聞いている。要望として受けとめる。

委員

教職員連絡会で検討する教育目標や教育課程について、統合準備会で報告してほしい。

副会長

まだ話し合っていない。教職員が話し合ったすべてのことを報告する予定はない。

事務局

交流活動等、統合と特に関連が深いものについては、随時、統合準備会で報告する予定である。

委員

平成 21 年度に光が丘第三小学校に入学する新 1 年生の保護者向けに、説明会を開催してほしい。

副会長

光が丘第三小学校では、新 1 年生の保護者と面談し、統合の説明をしているので、説明会を開催する必要はない。

会長

光が丘第四小学校でも、新 1 年生の保護者には統合の説明をしているので、説明会を開催する必要はない。

委員

統合準備会だより第 4 号に、両校合同のラジオ体操の様子が掲載されていたが、ラジオ体操は以前から地域の交流として実施しているものである。あたかも統合に合わせて始めたような事業と誤解を与えかねないので、配慮をお願いする。

事務局

両校が交流している様子を紹介した。意見として受けとめる。

委員

統合新校の校舎改修の件だが、特別支援学級の耐震壁の調査結果や、調理台・流し台の仕様等については、どこまで進んでいるのか。

事務局

耐震壁については、構造上の基本的な調査は終了し、開口部を設けられるかどうかの検討を始めるところだ。また、調理台等については、担任の先生の意見を参考に設計を進めている。

委員

随時、進み具合を担当にも報告してほしい。

事務局

了解した。

委員

統合新校となる光が丘第四小学校にエアコンを設置するのはいつか。

事務局

統合前に改修工事を行うため、エアコンの設置を見合わせている。

委員

先日発行された「教育だより」に、平成 21 年度からの夏休み短縮の記事とともに「全区立小・中学校に空調機を設置しました」との記事が掲載されていた。

事務局

説明が不足していた。大変申し訳ない。

委員

夏休み短縮を中止するかエアコンを設置するか、年内に回答してほしい。

学校教育部長

夏休みの短縮は、平成 21 年度から全区立小・中学校で実施する。エアコンの件については、学校とも相談する。

副会長

次回の統合準備会の日程を決めたい。次回は 12 月 1 日（月）午後 7 時から、光が丘第四小学校で開催したいと思うがよいか。

- 異議なし -

副会長

本日は、これをもって終了する。